

250323 第4回明石公園みんなの未来ミーティング

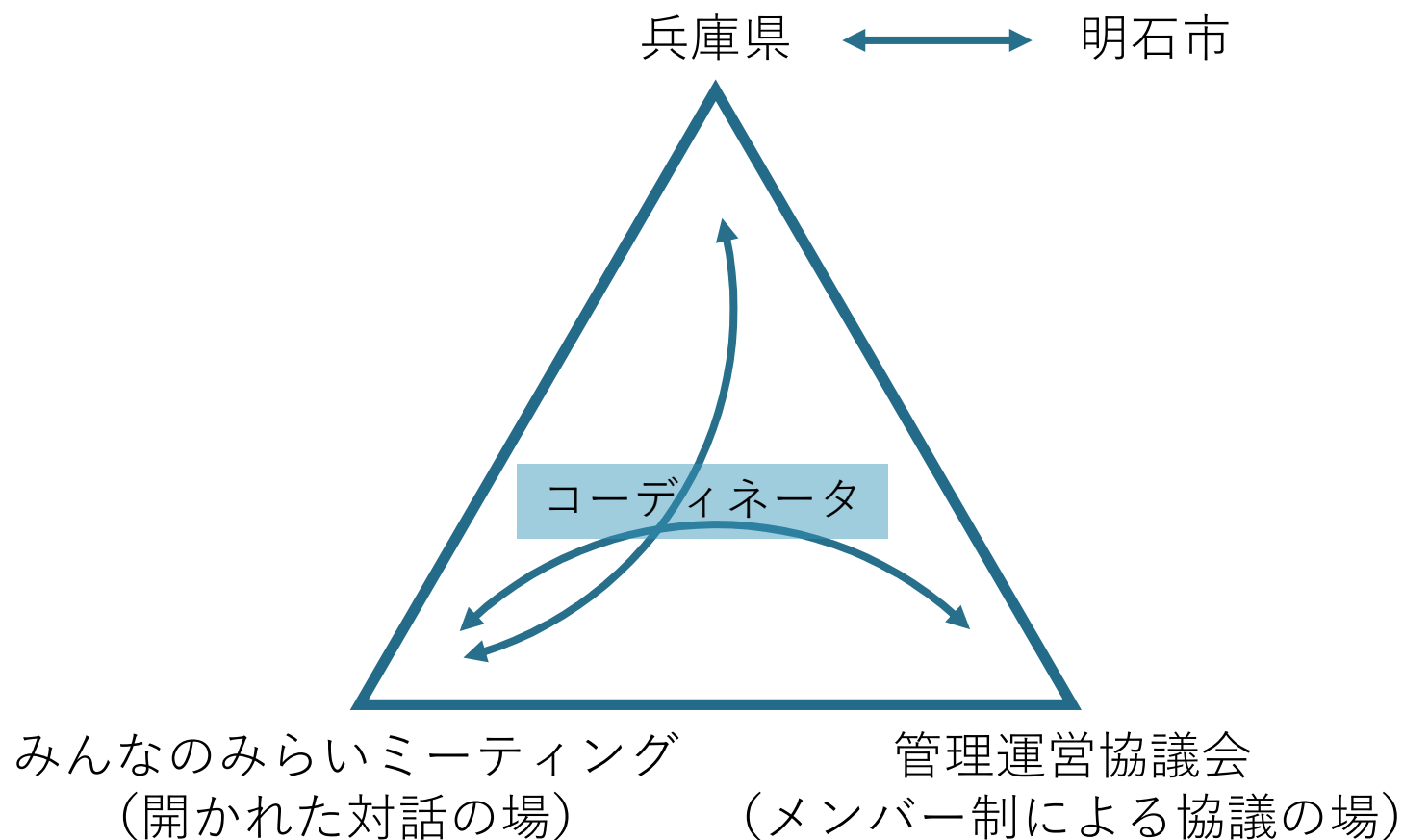
明石公園みんなの未来ミーティング

2025年3月23日（日） 14:00-16:00
@明石公園花と緑のまちづくりセンター

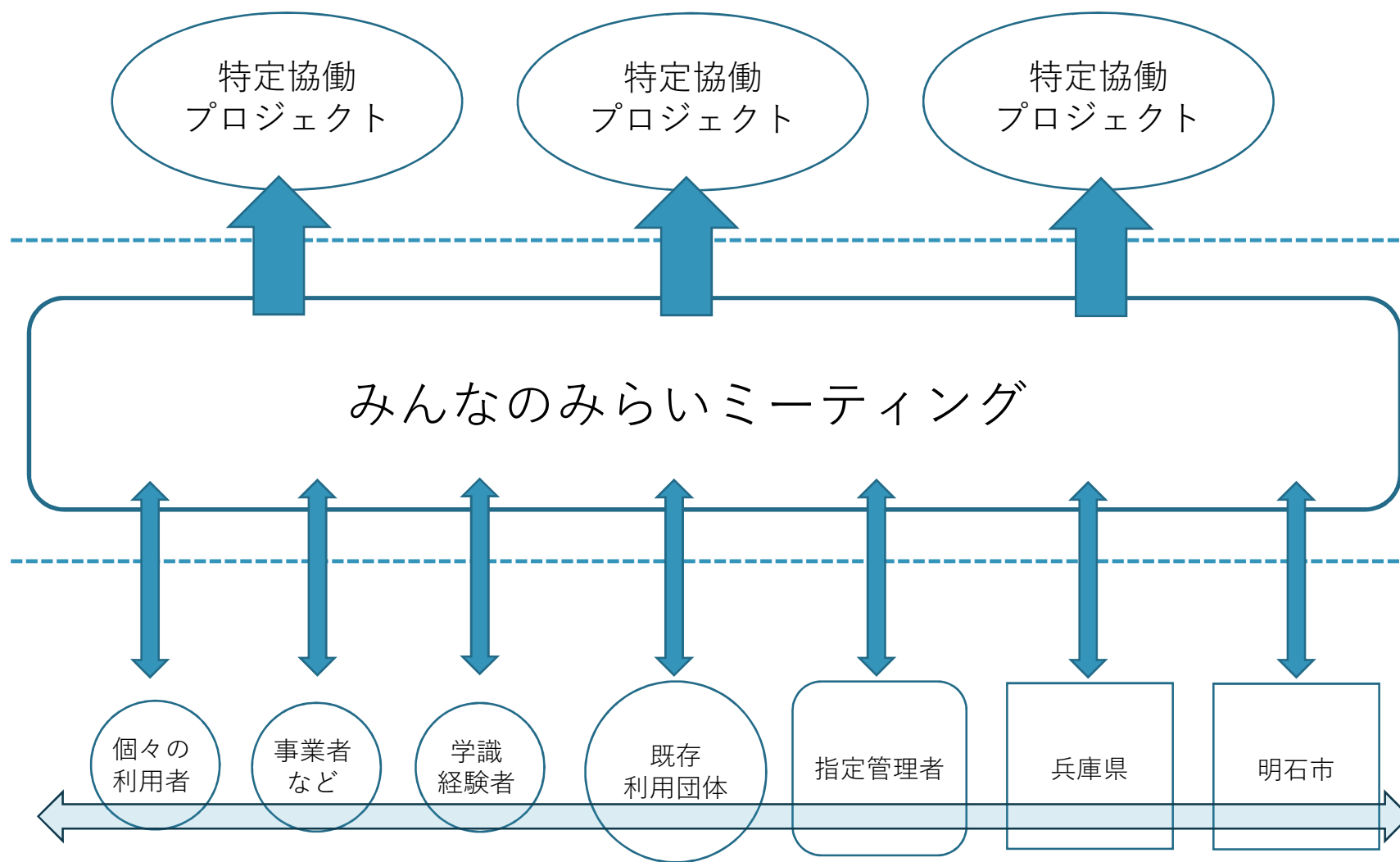
本日の議題

- 前回のミーティングの振り返り・協議会の概要報告
- ワークショップ
 - 花と緑のまちづくりセンターの展示スペースの活用
- 旧市立図書館跡地の利活用に向けた取り組みについて
- 樹木管理に係る報告について
- その他

明石公園における協働のしくみ



明石公園における協働のしくみ



みんなのみらいミーティングの役割

- 明石公園にかかわるすべての人が自由に参加でき、明石公園のことについて自由に「談義」する
- 明石公園の現状や、個々の実践を共有し、いろんな情報や人を「マッチング」する
- 一緒にできること、明石公園のために取り組まなければならないことを「企画」する

みんなのみらいミーティングの運営

<各回で話し合う内容>

- 建設的な話し合いができるようテーマを設定する
- 短期的な視点だけでなく、公園の将来像など長期的な内容についても話し合う
- 話し合った内容は、管理運営協議会及び兵庫県に報告する

<特定協働プロジェクト>

各主体が横断的に取組む必要のあるテーマが発生した場合には、別途プロジェクトを立上げて検討を行う

<運営チーム>

兵庫県、明石市、指定管理者、有識者、コーディネーター

市民プロジェクトの進め方

A：個々で実践するソフトの取り組み

特に調整や協議が必要なものではなく、利用者が自由に実施できる

B：明石公園の施設・資源などを使用して実践する個々の取り組み

協会あるいは県と事前の調整・協議のもと、実施主体が責任をもって取り組む

C：明石公園全体に関わる取り組み（特定協働プロジェクト）

みらいミーティングおよび協議会でテーマを設定の上、プロジェクト体制を構築して実施する

話し合いのグラウンドルール

- 明石公園を愛し、行動する者として、お互いを尊重しながら、建設的に話し合う
- 特定の組織や個人をつるしあげたり、誹謗・中傷する発言・行動はしない
- 意見を述べるときは、名前（あれば所属団体や活動名も）を名乗る
- 1回の発言時間はできるだけ3分以内で
- 以上のことをふまえながら、自由に、活発に対話する

第3回MMMの振り返り

日時：令和6年10月6日（日） 14：00～16：15

場所：明石公園 花と緑のまちづくりセンター

参加者：約50人

談義

- 市立図書館跡地の利活用計画について
- 明石部会で決定した石垣周辺の樹木管理について
- 明石公園リノベーション計画及び拠点創出について

報告

- 石垣周辺の調査について
- 樹木管理に係る報告について

図書館跡地の利活用について

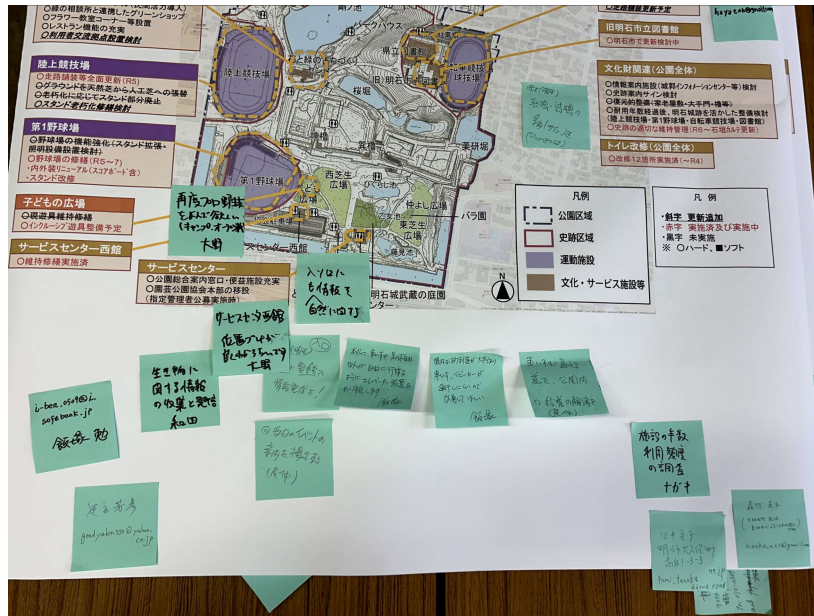
- 図書館跡地の利活用についての市民意見をもとに、施設の整備計画案を共有
- 基本設計の段階において、ワークショップとパブリックコメントを実施する予定
- 駐車場やレストラン、飲食スペース等については公園全体で考える必要がある
- 旧市立図書館跡地の中で完結するのではなく、公園全体でどこに、どのような機能が必要であるのかということをしっかり議論する

石垣周辺の樹木管理について

- 県立都市公園のあり方検討会明石公園部会での議論内容を改めて確認・共有
- 残った木の根が腐って空洞になる現象については、適切にモニタリングを行う
- 実生木が大きくなる前に刈ることも必要
- 今後、樹木の管理については計画的に実施していく必要がある
- シンボル的な樹木や大切にしたい木があれば、ゾーニング図Bに反映させる
- 倒木等の危険性がある樹木はR6年度かR7度中に作業

明石公園のリノベーション

- 以前に作成された明石公園リノベーション計画の内容を確認しながら、現状をふまえた新たな項目を市民が提案



主な意見

インクルーシブな公園

- 授乳室が子どもの村近くにほしい（園内各所に）
- 園内の砂利道や段差を解消して車いすやベビーカーが通行しやすく
- 本丸に車いすや足の不自由な人が自由に行けるように

自然に関する環境整備

- 四季折々の花園（あじさい、バラ、菜の花等）
- 子どもの小川の復活（ホタル）

文化に関する環境整備

- 歌碑・詩碑の案内（サイン）を（マップをつくる）

主な意見

運動施設の活性化・整備

- 野球場をもっと活用してほしい
- プロ野球をよんでほしい（キャンプ・オープン戦）
- グラウンドゴルフのできる場所

情報発信

- 生きものに関する情報の収集と発信
- 入口にも自然に関する情報を
- 入口に電飾で詳報発信をしてほしい
- 当日のイベントの案内を掲示

管理運営協議会の報告

日時：令和6年12月26日（木）14:00～16:00

場所：明石公園 花と緑のまちづくりセンター研修室

- 前回のみんなの未来ミーティングの振り返り
- 前回の管理運営協議会の振り返り
- 市立図書館跡地の利活用計画について
- 明石公園リノベーション計画実施状況について
- あり方検討会明石部会で決定した石垣周辺の樹木管理について
- 令和6年度事業進捗状況の報告について
- 樹木管理に係る報告について
- その他

MMMへの主な意見

- みらいミーティングの役割・関係性を事あるごとに関係図を示しながら伝え、明石公園で展開していることを発信していく必要がある
- 地域住民と立ち上げたみらいミーティングを明石公園の象徴的な取り組みとして育ててほしい
- 協議会やみらいミーティングの活動は、明石公園に強い関心がある人以外にはなかなか浸透していない
- パピオス明石の大きなモニターで目立つ広報を
- 協議会やみらいミーティングを、公園の広場などで行うことで、公園利用者等の目につき、興味をもって参加してもらえるようになるのではないか
- 文化財に興味のある人にも参加してもらって意見をもらってはどうか

リノベーション計画について

- 花と緑のまちづくりセンターの拠点と市立図書館跡地にできる拠点との棲み分けを考える必要がある
- 常緑樹林が主体の明石公園の生物多様性を高めるには落葉樹林のゾーンを増やしていくことが適切な方向性
- 何も切らない、変えないではなく、ゆっくり時間をかけて、変えるところと変えないところをはっきりさせ、ゾーニングや目標植生などを考えていく必要がある
- インクルーシブ遊具ができてから、あおぞら園とゆりかご園で計4回ほど遠足に来ているが、障害のある子どもを含む団体が来ても、他の親子連れは帰るのではなく一緒に遊んでいた

石垣周辺の樹木管理への主な意見

- 土塀は本来は木のない場所で、水はけに必要な部分に木が入ってしまっていて、石垣を壊す可能性が高くなっている
- ウバメガシはおそらく近代以降に植えたもの
- 明石公園で会った方と話していると、石垣の際の木を切らなければいけないかと聞かれ、石垣が崩れる恐れがあるのでと説明してもなかなか納得してもらえなかった
- 疑問を持っている人がまだたくさんいるので理解してもらうことが必要
- 以前大きく伐採した際「石垣が見えてきれいだ」と周囲の評価が変わったこともあった

拠点創出についての談義

談義①

- 花と緑のまちづくりセンター内展示スペースにおける拠点に必要な機能の整理
- 管理棟や旧市立図書館跡地とのすみ分け

談義②

- 拠点創出に必要なモノ・コト
- ハードとソフトの両面から

談義③

- 拠点創出にそれぞれができること
- 市民も行政も専門家も

拠点創出のポイント

- 明石公園の中央付近に位置する花と緑のまちづくりセンターは、公園内で多様な活動を展開するうえでの拠点として適した立地
- 剛ノ池を望むことができ、屋内から野鳥を観察できる貴重な場所である
- 喫茶店も隣接しており、店内と一体的に使用することでカフェ的機能も実現できる
- 剛ノ池周辺で野外活動を実施する際の拠点としても使える
- 広いスペースがあり、利用する人も多すぎないことから、小さな子どもを見守りながら休憩したり、テレワークをする機能も付与できないか（第1回MMMで提案された事項）
- 現状では、年に数回のイベントの際に展示で使用されるだけで、活用しきれていない印象がある
- センターは、①公園利用者の交流、②公園の情報発信、③テレワークなど新たな公園の利用、の3つの機能をもった拠点としての可能性を有している

現状の課題

- 現状では展示スペースには空調が設置されていないため、真夏・真冬の使用が難しい
- イベントの展示機能も担保する必要があるため、可変的にスペースを使えるようにする必要がある
- 明石公園の魅力を高める拠点スペースとするうえでは「おしゃれ」であることが大切
- TTTのある管理棟、および旧市立図書館跡地と機能のすみ分けが大切